

## 彙 報

2023年4月 東アジア文化研究科 第13年目開講

担当専任教員

【東アジアの言語と表象】 石崎博志、奥村佳代子、長谷部剛、池田智恵

【東アジアの思想と構造】 吾妻重二、二階堂善弘

【東アジアの歴史と動態】 篠原啓方、藤田高夫、池尻陽子、吉川和希

院生（2023年度）

入学者

博士課程前期課程：春学期 9名 秋学期 5名

博士課程後期課程：春学期 4名 秋学期 5名

外国人研究生：春学期 1名 秋学期 3名

在籍者（2023年5月1日現在） 合計60名

博士課程前期課程：29名

うち嶺南大学DDプログラム受入留学生 2名

博士課程後期課程：31名

2023年4月6日（木）

2023年度春学期・東アジア文化研究科論文構想発表会が以文館4階セミナースペースで対面方式により行われた。博士課程前期課程7名、後期課程3名が発表した。

2023年6月3日（土）

北京外国語大学主催の院生フォーラム「北京外国語大学研究生高端学术论坛」の「中国日本学研究前沿分论坛—“后疫情时代的日本研究与青年人才培养”」が対面・オンライン併用で開催された。北京外国語大学49名、中国人民大学8名、関西大学5名、清華大学2名、北京科技大学2名、吉林大学2名、北京大学1名、北京師範大学1名が研究発表を行い、各大学の専任教員がコメンテーターをつとめた。

2022年8月11日（金）

嶺南大学校主催の院生フォーラム「グローバル東アジアの現実と展望」が対面・オンライン併用で開催された。陸潭晟南京郵電大学教授および篠原啓方本学教授の基調講演に続き、嶺南大学校7名、関西大学6名、嶺南・関大DDプログラム留学生1名、北京外国語大学4名、南京郵電大学3名、ベネチア大学1名、エディンバラ大学1名、セントラル・ランカシャー大学1名が研究発表を行い、各大学の専任教員がコメンテーターをつとめた。

2023年9月19日（火）

大学院学位記授与式。博士課程前期課程修了者7名に修士（文化交渉学）の学位が授与された。

〔修士論文〕

劉	明 錯	明末清初乞師新探—17世紀東アジアの対外交渉と情報伝播—
喬	竜 川	荀子学と徂徠学の比較研究
胡	雯 琪	李賀と李商隱の詩の「曲喻」の比較
張	宇 輝	「軍用支那語大全」に関する研究
饒	佳 栄	錢穆の明清学術史研究
王	杰	『水滸伝』の唐話辞書における中国語の受容 『水滸傳摘訳』を中心に
王	夢 寛	清末以吳昌碩为中心的中日印学交流

2023年9月14日（木）

ローマ大学・関西大学主催の「第12回伊日中研究生言語文化交流研究フォーラム及言語接触文化シンポジウム」がローマ大学で対面形式により開催された。本学の院生2名、修了生1名、名誉教授1名、専任教員1名、ローマ大学院生4名が発表した。

2023年9月28日（木）～29日（金）

2023年度秋学期・東アジア文化研究科論文構想発表会が以文館4階セミナースペースで対面方式により行われた。博士課程前期課程9名、後期課程3名が発表した。

2023年11月10日（金）

本研究科客員教授の木村昌人氏（元 渋沢栄一記念財団研究主幹）による講演「災害支援をめぐる国際関係—東アジア文化交渉学の視点から」が以文館4階セミナースペースで開かれた。

2023年11月30日（木）

2023年度関西大学大学院院生合同学術研究大会（院祭）が以文館4階セミナースペースで開かれた。午前中に名古屋外国語大学図書館長・東京大学名誉教授の藤井省三氏による講演「鲁迅と日本文学—夏目漱石・芥川龍之介・大江健三郎・村上春樹」があり、午後、本研究科の院生2名が発表した。

2023年12月22日（金）

本研究科主催の「2023年度 東アジア次世代研究者フォーラム」が対面・オンライン併用により開催された。嶺南大学側は対面で参加。当研究科の院生4名、北京外国語大学15名、嶺南大学校8名、南京農業大学1名、ベネチア大学1名が研究発表を行い、各大学の院生および専任教員が司会とコメンテーターをつとめた。

2023年12月21日（木）

本研究科客員教授の中牧弘允氏（国立民族学博物館名誉教授・吹田市立博物館特別館長）による講演「世界の三猿—東アジアを中心に」が以文館4階セミナースペースで開かれた。

2024年3月21日（木）

大学院学位記授与式。博士課程前期課程修了者9名、後期課程修了者3名にそれぞれ修士（文化交渉学）、博士（文化交渉学）の学位が授与された。

〔修士論文〕

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 坂 倉 亮                 | 清末の国会開設運動—張謇を中心とした人的結合と省間連携—                       |
| 坂 本 忠 保               | 日本統治期台湾の法院通訳・官元未が記す客家語音声の特徴<br>—『台湾警察時報』の音声表記を中心に— |
| 周 子 作                 | 广东惠州譚公信仰研究   |
| 王 頌 男                 | 東晋南朝門閥士族の宗族知識における仏教受容の一検討—江南地区を中心に                 |
| 張 嘉 童                 | 陳景韓の初期の新聞活動と小説に関する研究—『時報』を中心に—                     |
| 胡 日                   | 清代アラシャン=ホシュート部をめぐる寺院ネットワークの研究                      |
| 劉 昱 江                 | 菅原道真漢詩研究—杜詩影響説の再検討および元白詩の投影について                    |
| 劉 韋 良                 | 朱熹における祭祀と鬼神観                                       |
| 蔡 松 娥<br>(DDプログラム留学生) | 日・中・韓「東アジア文化都市」の比較分析                               |

〔博士論文〕

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 張 米 琪 | 明治時代書法団体研究          |
| 楊 一 鳴 | 近代西洋人の漢字知識：蓄積と発展    |
| 吳 雨 清 | 鮑照・吳均を中心とした南朝辺塞詩の研究 |

## 投稿規程

### 1 適用の範囲

この規程は、関西大学東アジア文化研究科紀要『東アジア文化交渉研究』（以下『紀要』）への投稿について適用する。

### 2 掲載の範囲

『紀要』には、論考、研究ノート、資料紹介、訳注、書評その他の情報を掲載する。

### 3 原稿の募集について

- (1) 投稿の申し込み締め切りは毎年10月15日とする。
- (2) 原稿の締め切りは毎年11月15日とする。
- (3) 原則として、各号に1論文（刷り上り20ページ程度）とする。
- (4) 同一テーマで、毎号継続して掲載することも可能だが、他の投稿希望者が多い場合は、次号に回すこともありうる。
- (5) 執筆者には抜刷30部を配布する。なお、それ以上については、執筆者の自己負担とする。

### 4 投稿者の資格

下記の(1)～(4)とする。(2)(3)については、投稿に際して東アジア文化研究科専任教員の推薦を必要とする。

- (1) 東アジア文化研究科の専任教員、授業担当者
- (2) 東アジア文化研究科の大学院生および卒業生
- (3) 本学専任教員および他の研究機関所属の研究者。ただし、研究機関所属の研究者と共著の場合は、他大学の大学院生も可とする。また、本学の研究員となった他大学の大学院生も可とする。
- (4) 編集委員会から寄稿を依頼された者

### 5 投稿原稿

- (1) これまで他の学術誌に掲載されていないもの、投稿時点で他誌に投稿中でないものに限る。口頭発表を経たものは、その旨明記する。
- (2) 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わないが、特殊な印刷や翻訳については別途実費負担を求める場合がある。

### 6 掲載論文について

- (1) 東アジアにおける文化交渉研究に学術的に寄与しうるものとする。
- (2) 「4 投稿者の資格」(4)に該当するもの以外については、編集委員会が委嘱する査読委員を通じて審査のうえ、当編集委員会が最終的に採否を決定する。また採否にかかわらず、原稿（CD-ROM、図版など）は返却しない。

## 7 査読について

(1) 査読委員は、原則として関西大学東アジア文化研究科の専任教員とするが、専門分野によっては、本紀要に投稿する他機関の専任研究者等にも依頼するものとする。

(2) 投稿原稿の査読に際しては、4段階評価を行う。

A: 無条件採択

B: 軽微な修正を求める条件付き採択

C: 修正を求めて再審査

D: 不採択

採択数は原則として40篇以内とする。

## 8 電子化による公開

『紀要』に掲載された論文、資料等は、基本的にすべて関西大学学術リポジトリに登録することを許諾したものとする。

## 執筆要領

※2024年度より

### 1 基本事項

#### (1) 内容

東アジアの文化交渉にかかわる論考、研究ノート、資料紹介、訳注、書評その他

#### (2) 使用言語および字数

日本語：12,000字以上20,000字程度

中国語：9,000字以上15,000字程度

英語：約4,000語

その他の言語：事前に連絡すること。

図表がある場合もなるべくこの範囲内に収める。

#### (3) 要旨、キーワード、タイトル、氏名

①英語による要旨を150語程度で書く。

②要旨のあとにキーワードを本文に用いた言語および英語で各4～5語つけ加える。

③論文タイトルおよび執筆者氏名の英語表記を明記する。

④掲載許可等の著作権処理は投稿者が行い、申請するときは関西大学学術リポジトリに登録することについての許諾も得ること。

### 2 原稿の体裁

原稿は、プリントアウトした原本1部とデータ（WordおよびPDF）を同時に提出する。

### 3 原稿の書式

(1) 原則としてWord文書で作成すること。A4横書、1行40字を標準、本文のフォントサイズは10.5ポイントとする。

(2) 注は参照リスト方式（ハーバード方式）を用いる。

a. 本文末尾に「参照文献リスト」を載せる。

例) 友谷太郎（1992）『近世中国思想研究と文化交渉』東京：創文社。

万里花子（2021）「清国における金塊輸出の考察」『東アジア文化交渉研究』14: 275-290.

b. 本文内での注記の仕方は次のようにする。

例) 友谷（1992: 153）

万里（2021: 278-279）

（必要に応じてページ数を153, 278-279のようにつける。）

\*ただし、常識の範囲内で他の形式でも可とする。

- (3) 分節化の符号として、章は一、二、三、節は1、2、3を使用。なお、原則として冒頭は「はじめに」、文末は「おわりに」で統一する（ただし、常識の範囲内で他の形式でも可とする）。
- (4) 年の表記は、「1911（明治44）年」、「宣統3年（1911）」のように年号と西暦を併記する。
- (5) 本文中の算用数字は半角とする。
- (6) 資料の引用は本文に対して二字下げとする。
- (7) 漢字は現代仮名づかいにより、原則として常用漢字の範囲で書く。ただし、旧漢字を使用しなければならない場合はこの限りではない。外字に関しては、文書ファイルで■（黒い四角）を入力した後、プリントアウト原稿に当該文字を朱書すること。
- (8) 欧米人の名前は、文中での初出の際「ウィルソン（Thomas Woodrow Wilson）大統領」のように、丸括弧の中に欧文原名を示す。

#### 4 著作権

- (1) 紀要に掲載された論文等の著作権は、著者及び翻訳者に帰属する。
- (2) 著者及び翻訳者は、紀要への掲載をもって、関西大学大学院東アジア文化研究科に対して無償で著作物の複製権（著作権法第21条）及び公衆送信権（同法第23条）を許諾し、かつ、当研究科が第三者に対してそれらの権利を再許諾することについて同意するものとする。

#### 5 その他

審議を要する事項は、編集委員長が研究科委員会に諮り定めるが、最終的判断は編集委員長が行う。

#### ○投稿申込

毎年10月15日

#### ○原稿締め切り

毎年11月15日必着。査読を行ったうえで採否を決定する。

#### ○提出先

関西大学大学院東アジア文化研究科

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

#### ○提出方法

原稿の電子データ（WordおよびPDF）をEメール添付、またはCD-ROMで提出する。プリントアウト原稿1部もあわせて届けること。

## 執筆者一覧

### 【東アジアの言語と表象】

喬	昭	文京学院大学外国語学部非常勤講師
陳	曉 淇	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
陳	曉 雯	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
李	曉 晗	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
鎮 守	琳	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
王	韻 清	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
袁	建 華	天津外国語大学講師・関西大学外国人特別研究員（PD）
張	萍	浙江外国語学院中国語言文化学院講師
樂	曉 涵	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
高	絵 景	深圳大学準研究員
辜	承 堯	中国農業大学副教授

### 【東アジアの思想と構造】

吾 妻 重 二	関西大学大学院東アジア文化研究科担当教員・文学部教授
二階堂 善 弘	関西大学大学院東アジア文化研究科担当教員・文学部教授
朱 紅 軍	魯東大学講師
王 若 翰	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
王 怡 静	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
鄭 天 貽	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
劉 書 鈺	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程
張 子 康	河北師範大学講師
饒 佳 榮	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程

### 【東アジアの歴史と動態】

松 浦 章	関西大学名誉教授
劉 明 錯	九州大学大学院人文科学府（歴史空間論専攻）博士後期課程
王 天 恵	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程

### 【研究ノート】

当 智	甘肅政法大学副教授
楊 雪	関西大学大学院東アジア文化研究科（文化交渉学専攻）博士課程後期課程